

優秀実践校、団体の紹介

○四日市市立中部中学校

(よっかいちしりつちゅうぶちゅうがっこう)

市から派遣されている司書と連携し、学校図書館教育担当教諭を中心に教職員全員で、ブックトークやブックバイキング等を随時見直したり、追加したりするなどの実践を進めています。

生徒による主体的な取組として、毎月の委員会の際に、図書委員が各学級の読書の様子や趣向をふまえて、学級文庫に置く10冊を選書しています。また、6月と2月に図書室にある本の中から図書委員がおすすめの本を選び、紹介文を書いたり、図書室にコーナーを作ったりして、図書室へ行きたくなるような工夫を実施しています。

○御浜町立尾呂志学園中学校

(みはまちょうりつおろしがくえんちゅうがっこう)

学校図書館の活用と読書活動の充実に向けて、教職員、学校司書、学校図書館ボランティアが連携を密にし、組織的かつ継続的な取組を実施しています。

同じ校舎内の小学校とともに、毎日朝の15分間を読書タイムと位置づけ、それぞれが自由に読書を楽しむ時間としています。朝の読書活動を継続することで、子どもたちが自然と本に親しむことができるようになりました。

○三重県立名張高等学校

(みえけんりつなばりこうとうがっこう)

教員と学校司書が連携して学習内容に応じた選書を行い、授業における学校図書館の活用を促進しています。

生徒の主体的・意欲的な読書活動を推進するために、定期的に図書館講座や読書週間キャンペーンを実施するとともに、ビブリオバトル大会への参加を積極的に呼びかけています。

○桜絵本の会（四日市市）

(さくらえほんのかい)

四日市市立桜小学校をはじめ、保育園、学童保育、高齢者健康教室、地域の文化祭等において様々な工夫を凝らしながら、幅広く読み聞かせ活動を行うことで、地域に貢献しています。

小学校、学童保育では、英語のできる会員による英語の絵本の読み聞かせや、子どもたちが飽きないようにダンスを取り入れた読み聞かせを、高齢者健康教室においては、手遊びやキーボードの演奏、歌を取り入れた読み聞かせを行うなどの工夫を凝らしています。